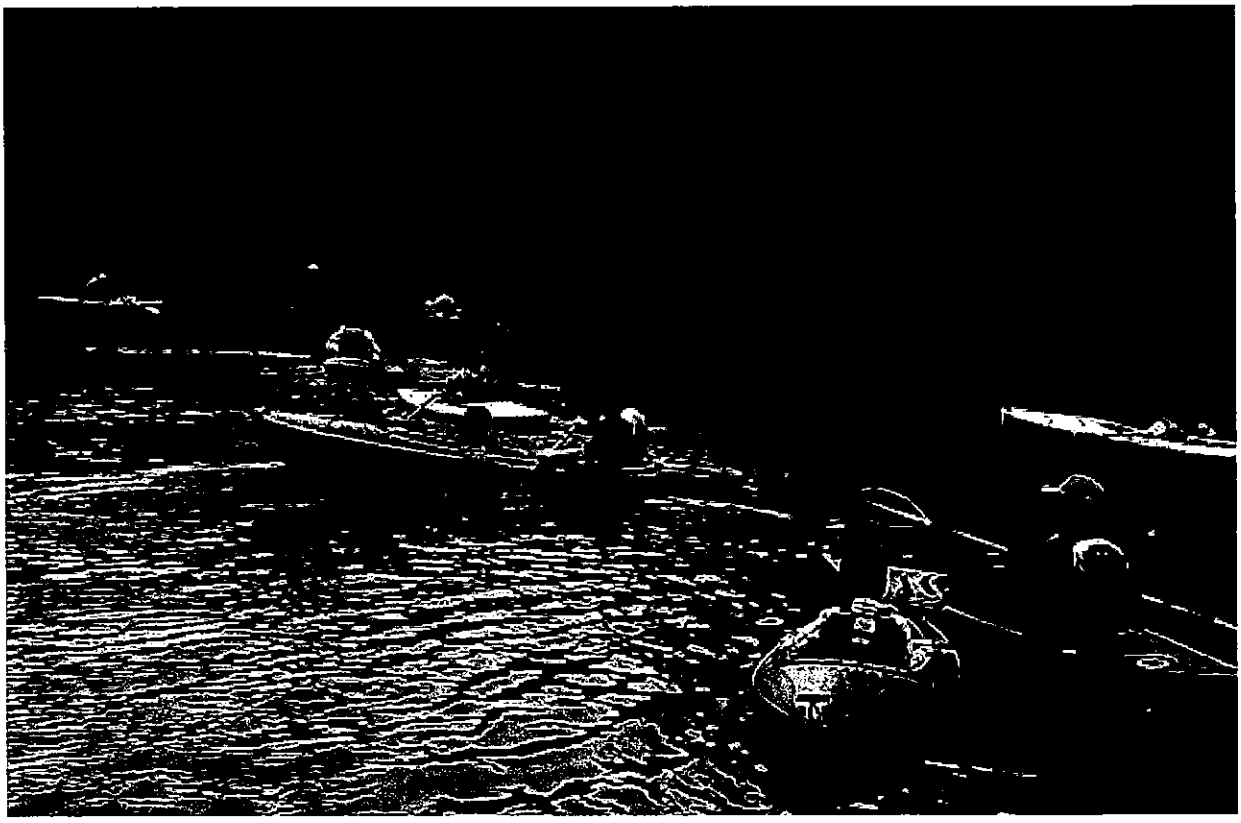
＜ブラサカスポーツ探検隊＠関西 実施概要＞

日時　5月23日（土）10:00-12:00
会場　神戸市立自然の家
内容　カヌー体験
スタッフ：6名

＜カヌー体験参加者：12名＞

＜内容＞
カヌー指導を受ける形ではなく、個々で自由に水上を動き回りました。

【所感】
・参加者の多くは「カヌー」を体験の珍しさに参加したとのことで、日頃体験しづらい競技を体験できるいい機会になったと保護者の方から好評でした。
・子どもの多くは2人乗りカヌーで保護者またはJBFAスタッフと一緒に乗船して体験し、子どもは初めてのカヌー体験なこともあり、「不安」を感じている子どもが多く「怖い」「大丈夫？』と言った声や表情でした。
→子どもと僕たちスタッフとのこれまでの関係性もあり、子どもの不安を取り除くことへの関与が出来たと思います。
・水上へ出発後は不安な気持ちはだんだんと薄れ、漕いだパドルの水音、澄んだ空気や風を感じたりして、自然を体感し、とても楽しんでいる様子が伺えました。



©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊@関東 実施概要＞

日時　5月24日（日）13:00-15:00
会場　文武一道塾　志道館　http://www.bunbuichido.com/shisetu/
内容　柔道体験
スタッフ:4名
講師:坂東 真夕子氏　他2名（文武一道塾 志道館館長）

＜柔道体験参加者:6名＞

＜内容＞
①礼作法
②柔道の歴史（精力善用、自他共栄）
③アップ
・道場内をランニング
・ランニング→片足立ち（右・左）
・円になって体操
・ダルマ転がし
④前転、ハイハイ、クモ動き、匍匐前進、カエル跳び
⑤後ろ受け身（座位から受け身、高い位置から受け身）
⑥投げ技（大外刈りの方法）
⑦先生を大外刈りで投げる
⑧先生と乱取り

【所感】
・指導頂いた坂東氏はブラインド柔道の強化にも関わっておられ、子ども達に分かりやすいようにして指導して頂きました。
→探検隊は基本外部講師にお願いするので、個人的には視覚障がいの理解がある方に指導頂ける安心感を感じました。
・志道館に通う、子ども6名（年長～中1）も参加し、探検隊参加者とペアになり、先生が指示する動き等をサポートしてもらった。
→志道館から参加していた1人の子が終了後、自宅に帰った後、保護者に将来、人の役に立つ仕事につきたいと言っていたとご報告がありました。
サポートしてくれた子どもも感じるものがあったようです。
・全身を動かすメニューが探検隊参加者の保護者からは好評でした。
→日頃全身を動かす機会が少ないので、このような機会が貴重になったとのこと。
・柔道は相手を投げるといった動きが多く、全身の力を遠慮することなく力一杯出すことが出来る機会となっていたのが良かったと強く感じた。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊@関西 実施概要＞

日時　9月26日（土）13:00-15:00
会場　灘浜スポーツゾーン
内容　ラグビー体験
スタッフ：3名
講師：平尾剛氏（元ラグビー日本代表/現神戸親和女子大講師）

＜ラグビー体験参加者：16名＞

＜内容＞
・ラグビールールの説明からコンタクトプレータックル、ランニングプレー
・タックル、スクラム、リフティングなど

【所感】
・ラグビーW杯開催期間であったため、児童たちの関心も高く、テレビ等で見聞きしている競技を体験できたことで非常に満足度が高かった。
・カー杯ぶつかる、といった運動が障がい特性上難しい中、全力でぶつかる、押す、という体験ができ、児童からも笑顔が見られた。
・元ラグビー日本代表選手の平尾剛さん、神戸製鋼コベルコスティーラーズ現役選手に講師としてお越しいただき、選手同士の迫力あるぶつかり合いを見学することができた。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊＠関東 実施概要＞

日時　9月27日（土）12:00-13:30
会場　秩父宮ラグビー場
内容　ラグビー体験
スタッフ：4名
講師：関東ラグビー協会、帝京大学ラグビー部

＜ラグビー体験参加者：11名＞

＜内容＞
・ラグビールールの説明からコンタクトプレータックル、ランニングプレー
・タックル、スクラム、リフティングなど

【所感】
・ラグビーW杯開催期間であったため、児童たちの関心も高く、テレビ等で見聞きしている競技を体験できたことで非常に満足度が高かった。
・力一杯ぶつかる、といった運動が障がい特性上難しい中、全力でぶつかる、押す、という体験ができ、児童からも笑顔が見られた。
・帝京大学ラグビー部の学生15名が参加し、児童一人につき1名ずつ付いて指導をいただいた。児童に取ってもお兄さんとの体験ができただけでなく、学生に取っても視覚障がい児童との触れ合いの中で、多くの気づきを得ていただけた。
・体験後には関東大学ラグビー戦（帝京大学対早稲田大学）を観戦した。関東ラグビー協会の方が解説を交えていただき、体験したばかりの児童達も競技を肌で感じることができた。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊@関西 実施概要＞

日時　10月3日（土）10:00～11:30
会場　もりのみやキューズモール
内容　陸上体験
スタッフ：3名
講師：T&F. net KOBE 野口研治氏　他4名

＜陸上体験参加者：9名＞

＜内容＞
・膝上げダッシュ、かかと上げダッシュ
・体幹トレーニング
・スタートの練習
・50m走計測

【所感】
・普段視覚障がい児童は全力で走る機会も少なく、走り方や体の使い方を学ぶことができ、参加保護者からも好評だった。
・ある一般校に通う児童の保護者は、児童の走る様子をビデオに録画し、その映像を学校の体育教員にも見てもらい、「こんなに走れるとは思わなかった」と児童の運動能力を理解していただく一助となった。
・腕の振り方ひとつを取っても、目で学ぶことのできない視覚障がい児童にとって、すべての競技の基本に通じる、しっかりとした走り方を学ぶことのできた貴重な体験となった。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

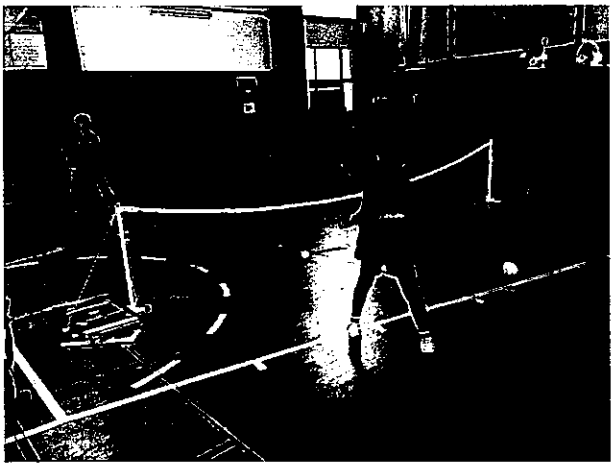
＜ブラサカスポーツ探検隊@関東 実施概要＞

日時　10月17日（土）13:00～15:00
会場　新宿NPO協働推進センター
内容　ブラインドテニス体験
スタッフ：4名
講師：JBFA普及育成部

＜ブラインドテニス体験参加者：11名＞

＜内容＞
・テニスコート把握(コートを隊列で歩く)、ルール説明、用具確認
・デモプレイ
・2人1組になり、座位・立位でゴロキャッチボール※距離感をつかむ
・前方から転がってくるボールを利き手で打ち返す※慣れてきたらバウンドボール
・上記の形式で素手から段ボールで作成した疑似ラケットを使って打ち返す
・止まっているボールをネットの向こうに打つ
・前方から転がってくる(バウンドしてくる)ボールを打ち返す

【所感】
・参加者11名のうち、ブラインドテニスを経験したことの児童はいなかったが、難しい課題にも挑戦し、最後にはラケットでボールを打ち返すところまで成長していく様子が印象的だった。
・当日はゲストとして元ブラサカ日本代表の鳥居選手にも参加いただいた。参加児童達は鳥居選手の動きに興味津々といった様子で、やはり、同じ視覚障がいを持つ方にプレーしてもらうことで児童の受け方が変わる部分があるように感じられた。



©Japan Blind Football Association, 2015-.

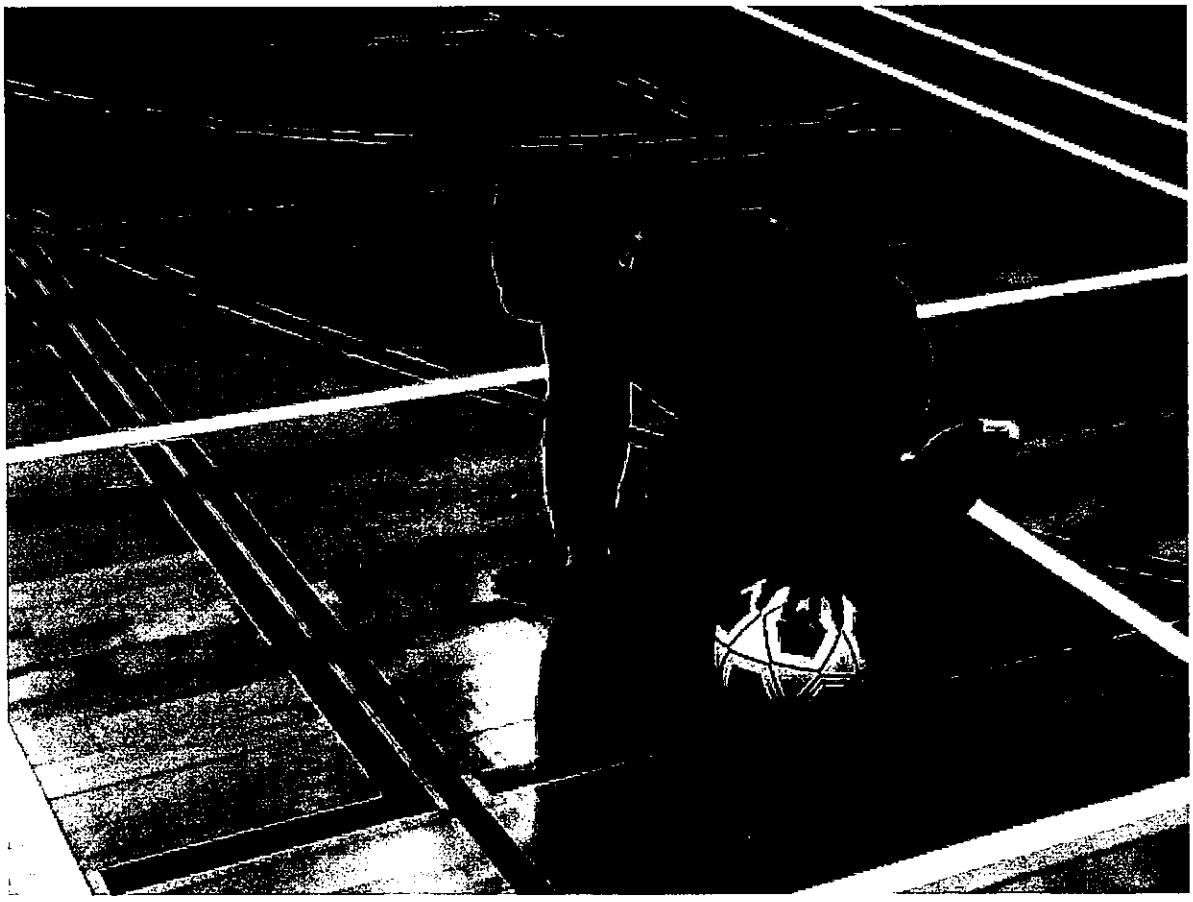
＜ブラサカスポーツ探検隊＠関西 実施概要＞

日時　12月6日（日）13:00～15:00
会場　尼崎市大庄体育館
内容　ゴールボール体験
スタッフ：3名
講師：日本ゴールボール協会普及部2名

＜ゴールボール体験参加者：12名＞

＜内容＞
・ボールスローとボールを止める練習
・3人一組でのパス
・3対3のゲーム

【所感】
・最初にゴールボールの紹介を受け、ボールの重さに驚く児童もいたが、次第にボールの扱いに慣れていくことができた。
・パラリンピック種目であり、学校でも体験をしたことがある児童もいたが、日本ゴールボール協会普及部のコーチにしっかりと指導いただけ、児童もより楽しく体験ができた。



©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊＠関東 実施概要＞

日時　12月26日（土）13:00～15:00
会場　新宿NPO協働推進センター
内容　ゴールボール体験
スタッフ：3名
講師：下溝まりな氏（筑波大学附属視覚特別支援学校 寄宿舎指導員）

＜ゴールボール体験参加者：7名＞

＜内容＞
・ボールスローとボールを止める練習
・3人一組でのパス
・3対3のゲーム

【所感】
・最初にゴールボールの紹介を受け、ボールの重さに驚く児童もいたが、次第にボールの扱いに慣れていくことができた。
・パラリンピック種目であり、学校でも体験をしたことがある児童もいたが、日本ゴールボール協会普及部のコーチにしっかりと指導いただけ、児童もより楽しく体験ができた。
・試合時間が思ったよりも少なく「もっとやりたい！」という声があり、満足度は高かった。
・ゴールボール経験も豊富な鳥居選手もコーチとして参加。児童も鳥居選手のプレーを間近で感じることができた。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

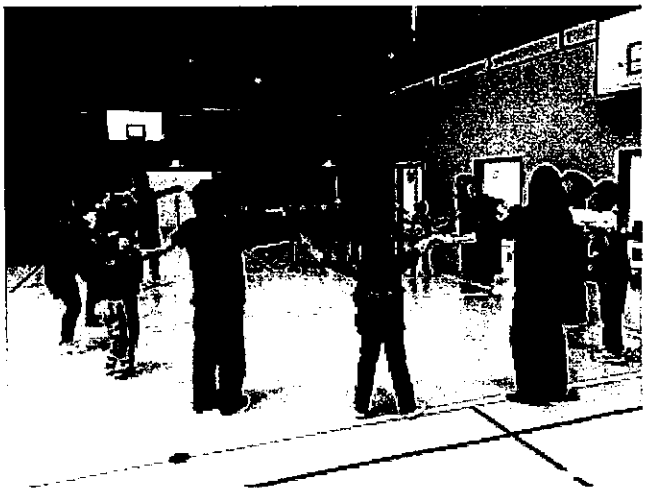
＜ブラサカスポーツ探検隊@関西 実施概要＞

日時　2月20日（土）13:30～15:00
会場　大阪市立市民交流センターひがしよどがわ
内容　ダンス体験
スタッフ：4名
講師：志儀明子氏　他5名（明石ジャズファクトリー）

＜ダンス体験参加者：9名＞

＜内容＞
1 ダンスとは（お話）
2 ウォーミングアップ（身体動かし、ストレッチ）
3 親子での触れ合い
4 ダンス振り付け
5 ダンス披露

【所感】
講師の質（見えない子が戸惑いのないように指示、指導してくれました）も高く、子どもたちはスムーズに体験することが出来ました。
当日で完結出来（振り付け練習から本番まで）、保護者からは子供の成長が分かりやすかったのではと思います。（子ども同様に出来た感を感じられたのではとも思います）



©Japan Blind Football Association, 2015-.

＜ブラサカスポーツ探検隊＠関東 実施概要＞

日時　2月28日（日）13:30～15:00
会場　大阪市立市民交流センターひがしよどがわ
内容　ダンス体験
スタッフ：2名
講師：岩崎ひろか氏・福田真澄氏（株式会社レイヴ）

＜ダンス体験参加者：7名＞

＜内容＞
・ストレッチ
・ステップ→振付
・発表

【所感】
・関東のダンスは「ヒップホップ」を行った。ストレッチの時からカウントの取り方などダンス要素の基礎的なところから教えていただき、最後には保護者にむけて発表を行い、拍手喝采で終えることが出来た。
・一回の事業で完結できたため、参加者だけでなく、保護者も達成感や成長を感じることができた。

©Japan Blind Football Association, 2015-.

スポーツ探検隊の目標である、「自発的、自律的に運動する機会を得るよう努力、調整を行う」ことに対して、繰り返しスポーツ探検隊に参加する児童も多く、また家族へのヒアリングによると、学校等での運動以外にも放課後、週末に運動をする児童もおり、少しずつ目標へと到達している。本事業は継続して行っており、将来的な目標達成を目指している。

©Japan Blind Football Association, 2015-.